

岐阜地方気象台長から県民の皆さまへのメッセージ

岐阜地方気象台のホームページをご覧くださいありがとうございます。

台長の辻川才太（つじかわさいた）です。岐阜県は、私にとりまして気象庁への第一歩、初任地でありまして37年ぶり二度目の勤務となります。

岐阜地方気象台は、明治14年1月に当時の岐阜県農学校内（現在の岐阜市司町付近）で気象観測をしたことに始まり、その後、大正6年に現在の岐阜市加納二之丸に移転しましたが、岐阜県の気象を見つめ137年が経ちます。

岐阜県は、急峻な山岳、御嶽山をはじめとする火山、木曾三川に代表される大河川と山紫水明の地です。

一方で、大雨による土砂災害や洪水害、地震災害、火山災害など、甚大な災害がこれまで幾度も発生しています。

気象台では、災害に結びつくような激しい現象について、特別警報、警報、注意報などの防災情報を適時適切に発表することはもとより、昨年より運用を始めた危険度分布（土砂・洪水・浸水）の表示などにより、土砂災害や水害の危険度の高まりについて県民のみなさまに分かりやすく伝えてまいります。

大雨や地震などの際に、県内の被害を少しでも軽減できるよう、職員一丸となって努力してまいります。



平成30年5月
岐阜地方気象台長

辻川才太